# ご案内

**2025年6月刊行予定**

## 戦後最大の贈収賄・消えた起業の天才と日本のニューリーダーたち

# 小説サンルート事件

## 消費税導入と隠された真実、失われた30年はここから始まった

元大村証券 本店営業部 川崎ひろみ 著

### 戦後最大の政官財スキャンダルを内側からえぐった話題作　二本啓孝・元日刊ゲンダイ編集長

- 起業の天才といわれ、就職情報誌をはじめ、一代で8兆円企業サンルートグループを作り上げた江田正。
- 1980年代、ノルマ証券といわれながら「銀行よさようなら、証券よこんにちは」と直接金融で日本経済を世界トップクラスに押し上げた大村証券。
- 1988年6月サンルート事件が発覚。混乱のさなか異例の速さで、1988年12月30日公布、1989年4月1日に導入された初の消費税。
- 日本の財政収支 1989年：+5兆3000億円（黒字）➡ 2024年：−37兆2000億円（赤字）
- 大村証券本店営業部の伊集院誠が見た未公開株サンルート開発による戦後最大の政官財贈収賄事件とは……。

- ISBN978-4-86563-122-7
- 2025年 6 月 13 日発行
- B六判 160 頁
- 定価：本体 1,300円+税


**全国の書店でお求めいただけます**

**事件概要**

### 戦後最大の贈収賄「リクルート事件」をモデル

東京大学の学生新聞の広告営業からスタートした株式会社リクルートの創業者である江副浩正（えぞえ ひろまさ）氏。関連会社の不動産会社である株式上場予定のリクルートコスモスの未公開株を利用した戦後最大の贈収賄事件として知られる。リクルートコスモス株事件が公になるまでは世論が消費税の導入に猛反対し、マスコミも追随していた。そこに「戦後最大の疑獄事件」が起こり、90人以上の政治家と財界人などニューリーダーと言われる多くの人が関連し国会は紛糾したが、異例の速さで消費税導入の法律が施行された。1989年 4 月 1 日に施行された「消費税の導入」その流れを「小説」として証券市場を通した目で凝視する。

**著者略歴**

**川崎 ひろみ**（本名：増田 博美）

1959年鹿児島県生まれ、1982年野村證券入社、本店営業部を経て 1988 年モルガン・スタンレー証券に。証券会社勤務時代は、企業の上場（IPO）、買収（M&A）、資金調達（ファイナンス）、資産運用関連業務に従事。2000年、独立後は企業年金制度の制度設計と移換業務を展開。特に確定拠出年金（日本版 401K）法成立（2001年9月）後は投資教育活動を中心に企業年金制度の改革を多数実施。確定拠出年金型と確定給付年金型の両制度に精通している。企業年金制度改革に伴い、日本の社会保障制度に危機感をもち、公的保障制度に加え、私的保障制度の充実を唱え実行している。また、10年前より東京と南九州の交流を図る「南九州経営者交流会」を主催。第一回は都城市長参加。農業経営者、商工業経営者の交流を深め、民間主導型の新しい地方自治を推進している。



【前編】大村証券とサンルート／大村証券の新入社員／サンルートの創業者／戦闘開始／サンルートの繁栄／大村証券本店営業部／サンルート開発未公開株譲渡戦略／転職／サンルート開発未公開株譲渡事件
【後編】サンルート潰し／バブル崩壊とサンルート3万株／西岡幸一のサンルート株　（目次タイトルより）


キリトリ線

**注　文　書**　（全国の書店でおもとめいただけます）

| 小説サンルート事件　川崎ひろみ 著 | 定価 本体 1,300円+税<br>ISBN978-4-86563-122-7 | 冊 | 書店名／販売店 |
|---|---|---|---|
| お名前 | | | |
| 住　所 | | | |
| T E L | | | 申込日　年　月　日 |

発行・発売 三冬社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 TEL.03-3231-7739/FAX.03-3231-7735